

一、けんこうで、ゆたかな生活

わたしたちが、毎日、明るく、ゆたかで、けんこうな生活をするために、ごみのしまつや、水道のしごとが、どのようなしくみで行われているのか調べてみましょう。

(一) ごみのしまつ

ふえるごみ わたしたちのくらしの中からは、毎日、たくさんのごみが出ます。ごみの種類しゅるいも多く、紙などのもえる物、金ぞくやガラスなどのもえない物、またプラスチックなどのように、もやすといやなにおいを出す物などいろいろあります。このようにたくさん出るごみを、家でもやしたりうめたりすることは、よいなことではありません。

そこで、大玉村では、安達地方あだちの他の市町村にほんまつし（二本松市、安達町あだちまち、東和町とうわまち、岩代町いわしろまち、白沢村しろさわむら、本宮町もとみやまち）と協力きょうりやくし合い、家などから出されるごみを、収集車しゅうじゅうしゃで集めて、いっしょにしまつてきました。

平成三年九月まで、ごみは、「もえるごみ」と「もえないごみ」の二種類に分けて集められていました。そして、「もえるごみ」はもやさされ、「もえないごみ」はうめ立てられてきました。